

発 言 通 告 書

令和3年9月6日

松山市議会議長 若江 進 殿

松山市議会議員 猪野 由紀久

次のとおり通告します。

発言順位	5	受領日時	9月 6日 午後 5時 50分	2 枚中 1 枚目
質問等の方式	一問一答方式 ・ 一括方式		発言時間	約 58 分
答弁を求める者	・市長 ・農業委員会会長	・教育長 ・選挙管理委員会委員長 ・監査委員	・公平委員会委員長 ・公営企業管理者	

No.	件 名	発 言 の 要 旨
1	東京 2020 オリンピック・パラリンピック のレガシーについて	(1) 両大会から何を学んだのか。 また、本市のまちづくりに生かすことはあるか。 (2) アスリートや大会を伝えるアナウンサーの言葉には、人を感動させる言霊があった。本市が大切にしている「ことばのちから」だと思うが、昨年募集した「だから、ことば大募集」の作品を今後どのように活用していくのか。 また、今後、本市の「ことば文化」をどのように発信していくのか。
2	新型コロナウイルス感染症対策について	(1) ワクチン接種について、これまでの経験を踏まえ、高齢者とそれ以外の方への接種予約方法、接種会場は、今回の方法がベストなのか検証しなければならないと思うが、現時点での所見を問う。 (2) ワクチン接種状況について ① ワクチン接種した人の割合は、年代別で何%くらいなのか。 ② 7月以降、感染した人のうちワクチンを接種していなかった人の割合はいくらか。 ③ 接種を迷っている人への啓発活動はどのように考えているか。 (3) 危機管理上のことも考え、ワクチン接種の優先順位、余ったワクチンを無駄にしないための方策について、今回の経験を踏まえ、マニュアル化すべきと考えるが今後どのように対応していくのか、現時点での考えを問う。 (4) 医療・保健体制について ① 本市にある無症状、軽症または入院を必要としない中等症感染者の宿泊療養施設の入所定員の人数を問う。

